

吹抜けの上部エリアが設定されていない

解説

吹抜け（面積算入）のエリアがあるにもかかわらず、吹抜け（面積不算入）のエリアが 1 つも設定されていない場合に表示されます。

▼吹抜けの基準階（最下階）

⇒吹抜け（面積算入）の設定あり



▼吹抜けの上階

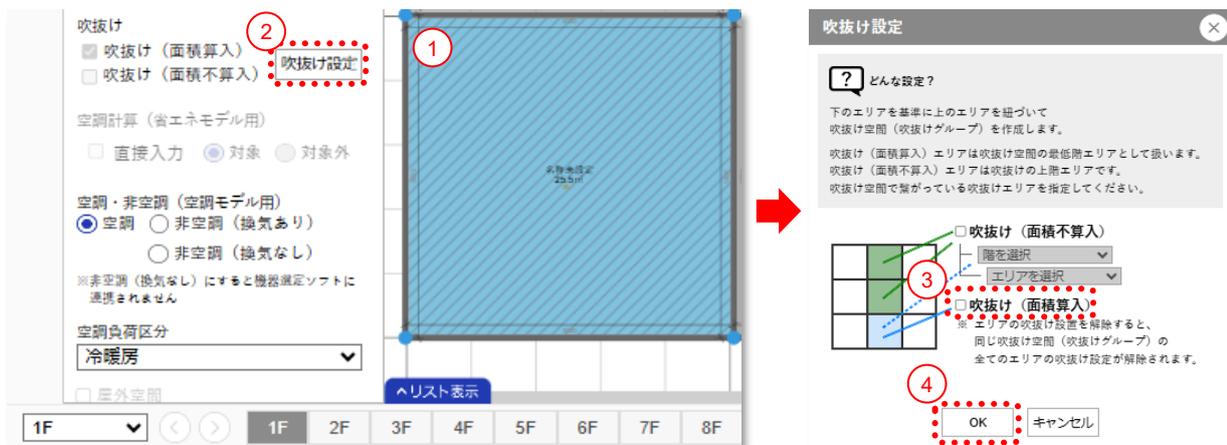
⇒吹抜け（面積不算入）の設定なし



エラー解消手順

《吹抜けがない場合》 ※吹抜けを誤って設定した場合

1. 吹抜け（面積算入）を設定したエリアを選択します
2. 設定情報から「吹抜け設定」ボタンをクリックします。
3. 吹抜け（面積算入）のチェックを外します
4. 「OK」で吹抜け設定」画面を閉じます

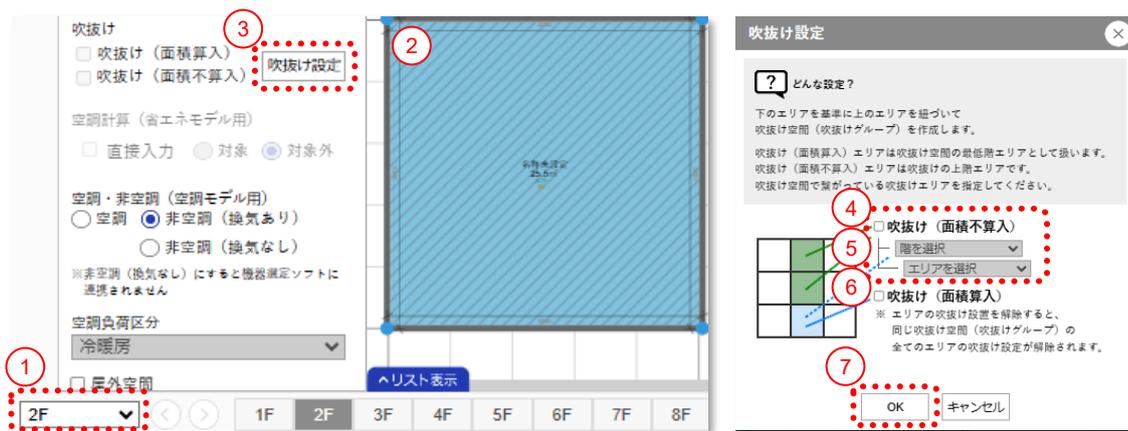


⇒ 吹抜けの基準となる「吹抜け（面積算入）」のエリアがなくなるため、エラーが解消されます（吹抜けの空間はなくなります）

《吹抜けがある場合》

1. 吹抜けを設定する上階を表示します
2. 吹抜けになる上階のエリアを選択します
3. 「設定情報」から「吹抜け設定」ボタンをクリックします
4. 「吹抜け設定」画面で「吹抜け（面積不算入）」にチェックします
5. 「階を選択」で吹抜けの基準となる下階を選択します※
6. 「エリアを選択」で吹抜けの基準となる下階のエリアを選択します※
7. 「OK」で「吹抜け設定」画面を閉じます

※ リストには、吹抜け（面積参入）が設定済みの階・エリアが表示されます



⇒ 吹抜けになる上階が設定されるため、エラーが解消されます
(吹抜けの空間が作成されます)

※ 「吹抜け（面積不算入）」のエリアは、1 つでも設定すればエラーは解消されますが、
吹抜け空間がさらに上階に続く場合は、すべての階で上記手順を実行してください